



# 成瀬台中学校だより

令和5年度—第8号—

Tel (042) 728-6030 HP <http://www.machida-tyo.ed.jp/j-narusedai/>

令和5年12月20日発行

## 学校目標

[自主]個性をまかし 自ら学び続ける人間

[敬愛]自他を尊重し 思いやりのある人間

[克己]困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間



## 「Z世代として考え行動するために」

校長 福田 秀樹

12月16日(土)は神奈川県各地で夏日となり、12月中旬に関東で夏日となるのは観測史上初だとメディアが伝えていました。年の瀬まで、地球温暖化を考えさせられる一年でした。一方で、放課後に西の空が日々茜色に染まる美しさや、校舎脇の南天が赤く実る様子には冬の訪れを感じます。

「かなりやがよく唄ひけり朝の日は南天の実にかがやきにけり」(佐佐木幸綱)

さて、11月中旬のあるテレビ番組では「反戦とZ世代 ガザ侵攻に抗議の声を上げ始めた若者」というテーマでZ世代の行動を取り上げていました。Z世代とは主に、1990年代半ばから2010年序盤生まれの年齢層の若者を指します。中学生の皆さんも含まれるということでしょう。

今回は、この番組内容の紹介を主にします。前回までの学校だよりにつながる話です。考える手掛かりにしてほしいと思います。番組内容は、パレスチナ(ガザ地区)の惨状を知った若者たちが世界で反戦の声を上げ始めているというものです。

【11月6日、自由の女神像の周りで反戦を訴える若者たちの姿です。】

ユダヤ系の若者も抗議の声を上げ始めるなど、アメリカの若者たちの間で、“変化”が見え始めていることを伝えていきます。アメリカCNN等の調査では、イスラエルの軍事的対応について、65歳以上の81%が「完全に正当性がある」と答えたのに対し、18歳から34歳では27%にとどまっています。

この層に多く重なるのが、「Z世代」です。生まれた時にはすでにインターネットが普及し、スマートフォンやSNSを駆使する彼らの間に、反戦の動きが広がっていると伝えていきます。

【11月10日、東京でガザでの即時停戦を求めるデモに、多くの若者たちの姿があり声を上げています。】

「これだけジェノサイドが起こっている中で黙っていることはできない。デモの情報とSNSでシェアされているので、それは大きい」「SNSを見てて、もう見逃せないな。無視する方が難しい」

SNS等で現地の情報に触れ、反戦の声を上げる若者たちが、日本でも徐々に広がりを見せています。

京都の学生団体はSNSを通じて、ガザ市民の悲痛な声を直接聞き、日本語に訳して紹介し、次のように話しています。

「“世界と自分がつながっている”という意識は若い世代の中には強くあるんじゃないかなと。鮮明な写真とか映像が、SNS上で出回るようになって、“戦争になったらどうする?”という会話がフィクションではなくなっている。知ったからには何かしないとイケないんじゃないかって」

SNSで世界とつながり、その状況を“知る”ことで、いま起きている悲劇は、他人事ではなく自分事になっているとも言っています。

番組は、若者の行動や発言を映像で紹介し、コメンテーターの一人が次ように解説していました。

「自分たちの地球の将来を大きく変えるような出来事を知ってしまった以上は、もう行動するしかないというふうに素直に思える。つまり大人の事情に忖度(そんたく)しないで、行動できるという流れがとても良いです。ただ、もう少し根本に戻って考えてみると、今パレスチナで起きていることは人権侵害です。つまり安心して人間らしく生を全うするというのが、邪魔されている、奪われているわけです。そういう不正義を許さないということを、英語ではインテグリティ

(Integrity) といいます。高潔さとか誠実さ、一人の人間として許せないということを本当に行動に表すということが出てきたことは大変心強く思いました。」(毎日新聞編集委員の元村有希子さん)以上、紹介です。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様には今年一年本校の教育活動に御理解と御協力をいただき大変にありがとうございました。皆様の御支援に心から感謝申し上げます。来年も引き続きどうぞよろしくお願いたします。

## 第2学年校外学習

11月29日(水)に第2学年鎌倉校外学習を行いました。事前学習として各班古都・鎌倉を巡るモデルコースについてのプレゼンテーションをクラス内で行いました。

この事前学習をとおして、自分たちの当日のルートを検討し、実際に足を運ぶことで様々な資料やホームページでは分からない周囲の匂いや長い登り坂など現場に行くことで新しく感じたこともたくさんあったことでしょう。

今回の校外学習の取組を成功させたことで、次年度の修学旅行では更に深い学びを目指して、日々の生活を充実したものにしていきましょう。



## お雛様 御提供のお願い

昔からお雛様は子供をけがや病気から守り、将来幸せな家庭を築けるようにという祈りを込めて飾られているものです。本校でも生徒の健やかな成長を願い、1月中旬からお雛様を校内に飾りたいと考えています。

つきましては、押入れの奥などに収納し、何年も部屋で飾られていないお雛様がいましたらお譲りいただければありがたいです。お譲りいただける御家庭がありましたら、副校長までお知らせください。

よろしくお願いたします。



## 1月のおもな予定

日	曜日	内 容	備考
1	月	元旦	
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日	冬季休業終	
8	月	成人の日	
9	火	始業式 安全指導	SC
10	水		
11	木	一斉委員会	B時程 SC
12	金	中央委員会 避難訓練	
13	土		
14	日		
15	月	生徒会朝礼	
16	火		SC
17	水	職員会議 PTA代表委員会	
18	木		SC
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	全校朝礼	
23	火		SC
24	水	⑤カット 給食なし	B時程
25	木		SC
26	金	都立推薦入試	
27	土	都立推薦入試	
28	日		
29	月		
30	火	職員会議	
31	水		

SC:スクールカウンセラー

## 台中生頑張っています！

### ◆全国納税貯蓄組合「税の作文」

まちだ納税貯蓄組合連合会優秀賞

佐々木 悠吾

### ◆町田市薬物乱用防止ポスター部門

佳作 原 千遥 鷲津 一花

### ◆全国中学校人権作文コンテスト

町田市優秀賞

多摩西人権擁護委員協議会長賞 齋藤 花

(生徒名敬称略)

### ◆社会を明るくする運動作文コンテスト

町田市推進委員会 優秀賞 中村 祐葵

### ◆ぴおシティ書道コンクール展

神奈川新聞社賞 中江 悠

